

平成 23 年度医学医療系登録研究グループ(リサーチユニット)申請書

2011.8.31

1.申請者 (代表者)	所属・職	臨床医学域・教授	
	ふりがな 氏名	榊原 謙 (サカキバラ ユズル)	
	連絡先	TEL: 3107, 91563 e-mail: kensan@md.tsukuba.ac.jp	
2.リサーチユニット 名称 (英訳名)	心臓血管リサーチユニット Cardiovascular Research Unit		
研究分野及び キーワード	研究分野:(臨床応用のための研究) キーワード:(心臓血管)(創薬)(ニューテクノロジー)(疫学研究)(予防医学)		
3.組織(中核教員には氏名の前に*印を記載)			
ふりがな 氏名	所属部局・職名	分野	役割分担
(申請代表者) * 榊原 謙	医学医療系・教授	心臓血管外科	研究ユニットの総括 臨床研究シーズの発掘
平松祐司	医学医療系・准教授	心臓血管外科	研究の実践
野間美緒	附属病院・病院講師	心臓血管外科	研究の実践
金本真也	医学医療系・講師	心臓血管外科	研究の実践
佐藤藤夫	医学医療系・講師	心臓血管外科	研究の実践
榎本佳治	医学医療系・講師	心臓血管外科	研究の実践
坂本裕昭	医学医療系・講師	心臓血管外科	研究の実践
相川志都	附属病院・病院講師	心臓血管外科	研究の実践
徳永千穂	医学医療系・講師	心臓血管外科	研究の実践
* 青沼和隆	医学医療系・教授	循環器内科	研究ユニットの総括 臨床研究シーズの発掘
宮内 卓	医学医療系・教授	循環器内科	研究の実践
渡辺重行	医学医療系・教授	循環器内科	研究の実践
本間 覚	医学医療系・教授	循環器内科	研究の実践
久我圭祐	医学医療系・教授	循環器内科	研究の実践
瀬尾由博	医学医療系・准教授	循環器内科	研究の実践
多田 浩	医学医療系・准教授	循環器内科	研究の実践
佐藤 明	医学医療系・准教授	循環器内科	研究の実践
河野 了	医学医療系・講師	循環器内科	研究の実践
酒井 聡	医学医療系・講師	循環器内科	研究の実践
石津智子	医学医療系・講師	循環器内科	研究の実践
村越伸行	医学医療系・講師	循環器内科	研究の実践
関口幸夫	医学医療系・講師	循環器内科	研究の実践
下條信威	医学医療系・講師	循環器内科	研究の実践

吉田健太郎 星 智也 許 東珠 野上佳恵	医学医療系・講師 医学医療系・講師 医学医療系・助教 医学医療系・助教	循環器内科 循環器内科 循環器内科 循環器内科	研究の実践 研究の実践 研究の実践 研究の実践
* 堀米仁志	医学医療系・准教授	小児科(循環器)	研究ユニットの総括 臨床研究シーズの発掘
高橋美穂	医学医療系・講師	小児科(循環器)	研究の実践
* 森 健作	医学医療系・准教授	放射線診断学	研究ユニットの総括 臨床研究シーズの発掘
柳 健一	医学医療系・講師	医工学	研究シーズの管理
幸田幸直 本間真人	医学医療系・教授 医学医療系・准教授	臨床薬理 臨床薬理	創薬関連研究の連携 創薬関連研究の連携
我妻ゆき子	医学医療系・教授	臨床疫学	臨床疫学研究の総括

4.研究プロジェクト計画の概要(1000 字以内)

心臓血管リサーチユニット設置の目的は以下の理由によりその重要性は明らかである。心脳血管死を合わせると全死亡の約 30%を占める重要な疾患群であり、癌による死亡率に匹敵する人類の克服すべき大きな課題であること。心臓血管病学の発展のための新たな創薬、テクノロジーの開発には、内科、外科、薬理学、循環器関連の基礎医学、疫学研究が一体となる必要がある。

まず high volume 施設になる努力を惜しまず、臨床研究の推進を図る。これから解決すべき問題点やテクニックとこれに要する器材の新規開発を目指して、臨床に即した研究を計画する。ただこの臨床のための研究に留まらず、その解決が必要な問題点の共有を基礎研究者(外部の共同研究者を含む)と綿密に行う。CREIL センターの機能も大きくお借りしたい。

また、心臓血管病の研究に大々的に取り組んでいることを内外にはっきりとアピールして行くことが重要であり、これによって学外また海外の研究施設や研究者との交流を深めやすい環境を整える。このためにも、この研究組織をあることをまずユニットとして正式にお認めいただいた上で、これをさらに大きくしていく努力に勤しみたい。

特に海外の研究機関、先進医療機関との共同研究が重要と考えており、この交流の強化のために若手医師ならびに研究者の双方向の派遣を活発に行っていきたいと考えている。

5.研究プロジェクト計画の概念図

心臓血管リサーチユニット組織図

